



碧南ロータリークラブ週報

第2356回例会 平成19年4月4日(水)

● 会長 杉浦健次 ● 幹事 石川春久 ● 会場監督(SAA) 棚田道和

■ 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール

■ 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90

TEL <0566>41-1100 FAX <0566>48-1100

ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>

E-mail: info@hekinan-rc.jp

■ 会報委員 角谷信二・新美惣英・清澤聡之

2006~2007年度
国際ロータリーのテーマ

LEAD THE WAY

率先しよう

できるひとが
できるときに
できるところで

率先しよう



杉浦健次会長

● 斉唱

国歌「君が代」

ロータリーソング「奉仕の理想」

● 四つのテスト唱和

● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

● 本日のお客様

高浜RC

杉浦 誠君

碧南市市民部秘書課秘書広報係長

山田 昌宏氏

第15回ライラセミナー受講生

三島 美紀様

酒井沙季子様

会長挨拶

国内、海外ともに地震が多発して大きな被害が起きています。心よりお見舞いを申し上げたいと存じます。

今、展開されています県議会議員選挙の投票啓発活動の為、4月1日(日)16:00よりアオキスーパー碧南店で"投票呼びかけ"を行いました。又、4月3日(火)には8時30分より20時まで市役所にて"期日前投票"の立会人をつとめました。約12時間の立会いでしたが、262の方が投票をされました。来る4月8日(日)は投票日でございますので、会員諸兄には投票啓発にご理解を賜ります様お願い申し上げます。

私達ロータリアンには、「会費の納入」「例会出席」「ロータリー雑誌の講読」という三つの義務があります。そして、今月は"雑誌月間"であります。毎月発刊されます。「ロータリーの友」「ガバナー月信」等をお読みいただき諸々の情報知識の取得にお役立てをお願い申し上げます。

さて、新美孝創立50周年記念実行委員長より、50周年の幹事を務めよとの命令を受けましたので、微力ではございますが、新美実行委員長の思い実現の為、一生懸命つとめさせていただきますので、皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。先週の例会後に「第1回正副委員長会議」を開催いたしました。その会議で決定した事をご報告いたします。

①式典並びに祝福の日は平成20年9月27日(土)(50年前のチャーターナイトに想いを寄せて)

②慰霊祭の挙行は平成20年9月10日(水)妙福寺。

③平成20年4月開館予定の「藤井達吉現代美術館」に藤井達吉翁の等身大の像を寄贈する。

でございます。いよいよ50周年の諸事業が動き出します。本年度、次年度、次々年度と三年度に

巨ることとなりますが、皆様のご尽力をお願い申し上げます。

本年度の環境保全委員会の事業であります「若松公園の植樹」が竹中誠会員の竹中造園土木(株)さんによって植栽工事が完了いたしましたので、本日理事会後14時30分前後となると思いますが、その確認にまいりたいと存じます。ご都合のつく方は是非、若松公園にお出掛けいただきたいと存じます。

それでは、本日も宜しく願い申し上げます。

ライラセミナー修了証授与

三島美紀 様
酒井沙季子様



ライラセミナーについて

新世代委員長 伊藤正幸君

幹事報告

- ・他クラブの例会変更等は幹事報告書の通り
- ・例会終了後201号室にて第10回理事会開催



伊藤正幸君



石川春久幹事

委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数 79 名 (内出席免除者 13 名) 出席者 66 名	
出席対象者 56 / 66 名	出席率 84.85%
欠席者 14 名 (病欠者 0 名)	前々回修正出席率 100%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

〈ニコボックス委員会〉

高浜 R C 杉浦誠君 久しぶりにおじゃましました。来週もおじゃましますので、よろしく。

長田 昌昇君 先日の IM で御礼を頂き、ねこばばしました。ニコボックスへ出します。

原田 達八君 碧南市連絡委員西端地区正副幹事の任期を終えました。

杉浦 勝典君 明日 4 月 5 日に市政功労者として表彰を頂ける事になりました。有り難く感謝致します。

竹中 義雄君 森田会計パートナーズ様大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

木村 徳雄君 ご無沙汰しております。中央中 P T A 会長に 4 月 19 日より就任予定です。

竹下 豊君 緑化推進事業終了しました。会長、幹事さん、竹中さんお世話になりました。

奥田 雪雄君 先日ある歓送会で青木さんより紹介された短歌を使わせて貰いました。ありがとうございました。

桜の花ちりぢりしも わかれゆく 遠きひとりと きみもなりなむ

オリグチ シノブ

鶴田 光久君 子供が大学を無事卒業しました。これから社会人として頑張ってください。

竹中 誠君 若松公園植樹お世話になりました。

深澤 元喜君 本日午前中クロアチア プーラ市からの訪問団のみなさんに発電所を見学してもらいました。

〈親睦活動委員会〉

会員誕生日

4月20日 織田 典隆君 25日 石川春久君 26日 青木 稔君 28日 縦山善久君
29日 堀田 益隆君 30日 竹下 豊君

奥様誕生日

4月2日 平岩統一郎君の奥様 和恵様 2日 近藤 孝三君の奥様 芳子様
4日 杉浦 健次君の奥様 紀子様 5日 新美 真司君の奥様 琢美様
6日 池田 弘孝君の奥様 雅子様 7日 新美 孝君の奥様 信子様
14日 永坂 隆一君の奥様 美保子様 19日 杉浦 求君の奥様 静子様
21日 長田 銑司君の奥様 美代子様 24日 倉内 裕君の奥様 月子様
25日 長田 豊治君の奥様 妙子様 27日 杉浦 勝典君の奥様 紀代子様

結婚記念日

8日 矢埜 隆君・トシミ様 36年 10日 杉浦 健次君・紀子様 43年
11日 棚田 道和君・美津子様 31年 15日 鈴木 輝彦君・智子様 28年
16日 石川 春久君・美鈴様 37年 17日 倉内 裕君・月子様 34年
20日 岡本 明弘君・早百合様 25年（銀婚） 23日 石川 唯司君・紀代子様 41年
29日 池田 弘孝君・雅子様 46年

入会記念日

3日 木村 克美君 5日 井上 達夫君

卓 話

「碧南市広報づくり」について

碧南市市民部秘書課秘書広報係長 山田 昌宏氏

1 広報へきなんの始まり

(1) 市制施行された昭和23年10月から「碧南市弘報」として生まれる。その一方で「P.R.O.たより」が昭和24年5月3日に不定期に発行される。

(2) 当時は、碧南市弘報が固い内容で、PROたよりはお知らせ的な役割の2本立てだった。

(3) 現在の広報へきなんの前進は「PROたより」で、昭和33年1月に「広報へきなん」と改称されている。



2 広報へきなんの発行回数の変更

(1) 現永島市長が広報紙の月3回発行を公約に揚げ、当選されて以来10年間実施。

(2) 広報紙の手渡しによる地域のコミュニティ作りの機会をより多く提供する目的でそれも一定の役割を果たした。

(3) 平成18年6月から年2回に変更。

(4) 市の業務内容を、タイミングの良い時期により深く、詳細に提供し広報の充実を図ることを目的で月2回とし、毎月1日号に特集を掲載。

3 広報へきなんの構成

(1) 1日号は、人物に焦点を当てた表紙と特集（4～8ページで作成）が特徴。市民への行政情報・事務事業情報の発信として構成している。

- (2) 15日号は、事務事業や啓発を目的として、広報を見た人の目を引くようなちょっとひねった、クスッと笑える表紙と「ほのぼの」、「まちかど伝言板」、「ちびっこクラブ」、「グループ紹介」などの市民参加型の記事の特徴として構成している。
- (3) 広報は、まちかどフォトニュースを境に、前半と後半記事とに分けて作成。前半は4段で16文字流し、後半は5段で12文字流しとなっている。
- (4) 前半は大きな記事で文字数も多いためゆったり見えるように、後半は小さい記事が集まって構成されているため間延びしないようにとの考えと、記事にメリハリをつけるため。
- (5) 「碧南一家」は、昭和31年に今と同じ加藤まさみ先生により「ホープさん」として連載開始。その後「碧さんと南さん」として、同じ加藤まさみ先生で昭和33年～34年。昭和34年～41年には風太郎先生により「碧南一家」が掲載され、その後、昭和42年～現在まで加藤まさみ先生により同じ「碧南一家」として連載中。
- (6) 「気ままに五七五」は、秘書広報係で気ままに作成。

4 広報の作り方・考え方

- (1) 市民へのお知らせ記事については、各課から各号締切日を定め、原稿の提出をしてもらい、言葉使いや言い回しに気をつけ、市民の方にわかりやすいよう編集しながら、レイアウトを組んでいる。
例 とき、ところ、講師、内容、対象、定員、料金、持ち物、申込み（問合せ）
 です・ます調 など
- (2) 碧南市の広報紙の特徴は、余白を多くし、窮屈にならないように心がけ、写真を多く取り入れるようにしている。
- (3) このため、広報掲載行事により頻繁に素材写真を撮りに出かけている。
- (4) 特集などは、各課と相談（取材）し、必要な写真・雰囲気合う写真を撮りに行っている。
- (5) 表紙の撮影、「ほのぼの」、「ちびっこクラブ」、「グループ紹介」などは市民が対象になるため、日程調整、質問内容、活動内容などの事前の調査が必要。
- (6) 各ページの半分は写真やイラストなどを配置し、文字を半分程度にする、余白を取るなど見やすいレイアウトにすることを心がけている。
- (7) ①配置、②縦横のライン合わせなどのレイアウト、③見出しの言葉（2行くらいで端的に）、④行合わせなどに注意し編集。
- (8) まちかどフォトニュースでは、市で行われている行事や表敬訪問などを掲載し、どんな出来事があったかを掲載。（だいたい、6，7行事）
特に行事を限定してはいないが、団体や一企業の企業イメージアップにつながるようなものになってはいけないので、教育、観光など、目的に公共性・市民理解が得られる内容となる。
- (9) 後半の記事については、できるだけ写真を入れながら作成。市への寄付についても、財務課をとおして、くらしの情報で掲載。100万円以上で、市長へ目録などの贈呈があった場合については、まちかどフォトニュースへも掲載している。

5 苦労している点

- (1) 写真撮影
記録写真ではいけない。市民の顔・何をしているか・雰囲気が伝わる写真構図（背景・配置など）・光・色
- (2) レイアウト（配置・構成・見出し）＝特集・前半・後半・まちフォト
センス、デザイナー的な感性が必要なのでは？
- (3) わかりやすく、目を引き、スマートに

- (4) 取材における事前の資料収集
- (5) 毎月の各号のページ数の増加
- (6) 表紙（人物・広報を見た人の目を引くようなちょっとひねった、クスッと笑える表紙）

〈環境保全委員会〉

緑化推進事業

「若松公園植樹事業」



〈例 会 案 内〉

平成19年4月21日（土）春の家族会 於 御園座

平成19年4月25日（水）

「一日に 何を どれだけ、どのように食べる？」

名古屋学芸大学 名誉教授 管理栄養士 三浦正彦（通称正人）氏